

公益財団法人不老会会員のご家族の皆様へ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	房水流出路におけるリンパ管の分布に関する研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	眼形成・眼窩・涙道外科 教授(特任) 高橋靖弘
研究の対象となる方	2023 年 1 月から 2024 年 9 月までに医学研究に使用されたご献体
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 房水は眼球内にある液体で、毛様体と呼ばれる部位で生産され、角膜(黒目) 強膜(白目) および虹彩(茶目) の間にある隅角と呼ばれる部分から流出し静脈に至ります。この循環によって眼圧(目の硬さ) が一定に保たれています。一方、ラットの実験において、房水の一部は結膜のリンパ管へと流出することがわかっていますが、ヒトでこの流出路が解明されていません。本研究は、これを解剖学的に調べることを目的としています。 〔利用方法〕 眼窩組織から作成した組織スライドを顕微鏡で観察します。研究には年齢、性別、献体登録時の情報を利用します。研究の方法に関する資料を入手・閲覧を希望する場合は、下記問い合わせ先まで申し出てください。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：ご献体から作成した組織スライド 情報：年齢、性別、献体登録時の情報
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025 年 7 月 31

は提供を希望しない 場合	日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：教授（特任） 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 12314）